



# Mark-Net

## 各種センサとLANを結ぶ下位層ネットワークとして、IoTの一環を担う

- ・ 装置の稼働状況・故障の情報をリアルタイムで監視し、工程事故の即発見！
- ・ 履歴の解析で効率化と、改善！（稼働率、故障モード）

### ■ 用途

産業用：製造ライン

医療用：院内設備

その他：機器、設備全般

### ■ 特徴

“Masterユニットが各Slaveからの情報収集し、PCで集中管理しInternetへ接続可能”

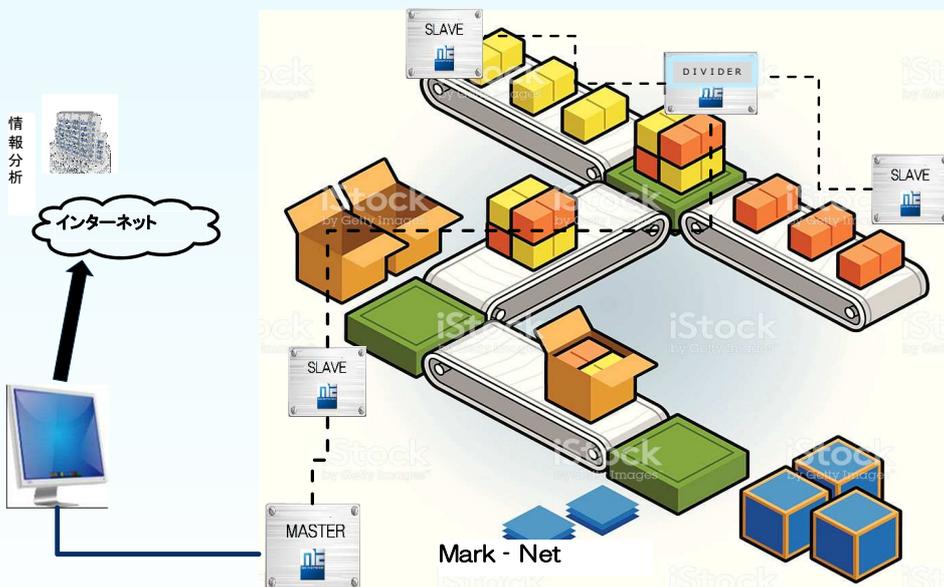
“有線接続により多種環境に対応、情報漏洩の信頼が高く、耐電磁波高い”

“各スレーブ間は、最大20m長でデージーチェーン接続が可能で、整然なケーブル配線を実現

”設備導入後の後付けが容易にでき、温度、速度、位置などセンサによって多種の情報管理が可能

“インサートの下位層としてMasterユニット1台につき最大250個のSlave（センサ類）が接続可能”

“高速通信（最大8Mbps）が可能”



・1台のマスタと複数台のSlave、Dividerで構成

#### 【Master】

Ethernetポート 1個  
 MarkNetポート 2個  
 （Masterの位置は自由）

#### 【Slave】

MarkNetをDaisy Chainする  
 各SlaveはアドレスSWを持つ

#### 【Divider】

分岐接続を行う

#### 【通信規格】

RS-422